

# 「観音さま」

平成二十二年九月四日 放送

観音さまが祀られている観音堂には、朝夕たくさんの方がお参りをされています。

「観音菩薩」観自在菩薩と呼ばれる、観音さまとはどのような仏さまなのでしょう？ 観音さまは音を觀察し、観るように入々の苦しみの声を聴くことが出来ると言われています。そのお姿には様々なものがあります。共通するのは「観音」または「観自在」といわれるように、まさに今、苦しみを悩んでいる人々の声を自在に聴き、救済しようとする仏さまなので。

観音さまには様々な苦しみや、願いが届けられます。

観音さまをお参りするあるご婦人のお話です。寝たきりのご主人の介護が長期間にわたりとでも大変で、その上最近では認知症の症状が出てきました。もう今では介護しているのが奥さんであると言ふこともわからなくなつたよう、悔しいやら情けないやら。ある時は妻である自分をも忘れたことに苛立ち、ついご主人の頭をたたいたりすることもある。

# 「お地藏様」

平成二十二年十月九日 放送

お地藏様は正式には「地藏菩薩」と呼ばれます。お寺のお堂だけでなく、お墓や道路の道筋、田んぼのあぜ道など、さまざま場所でお私たちを見守って下さいます。親しみやすいお姿で、私たちにほんの少しも馴染みのある仏様ではないでしょうか？

お地藏様の「地」は大地を意味し、「蔵」は包み込むという意味で、お地藏様はすべての命を育む大地のように、私たちを包み込んで下さると言われており、さまざまところへ現れて、私たちを苦しみから救って下さる仏様なのです。大地の徳を備えた仏様なのでお寺のただでなく、屋根のない道筋で私たちを見守って下さっているのです。

自分だけでなく、あらゆる苦しみをかすすべての人を救おうという、お誓いを立て仏教の修行を続け、私たちを救って下さる仏様を菩薩さまといいます。

お地藏様も菩薩さまです。お釈迦様が亡くなってから、弥勒菩薩さまが現れるまでの気の遠くなるような長い間、天上界から地獄まであらゆる場所ですべてを救おうと決心された菩薩さまと言われています。

あつて、後でとても落ち込んでしまったそうです。

ご主人が介護サービスを受けている間に外出をして、時々観音さまにお参りしているとのこと。もちろん、お願いすることはご主人の回復と、安らかな日々を送りたいと云うこと。そんなある日、ご主人がこんなことをおっしゃつたそうです。どこかごなたか存じませんが、こんな私の面倒をよく見ていただきありがとうございます。本当にあなたは観音さまのような方です！

このご婦人はこの話を本当によれし、そうにお話しくださいました。ご主人の病状の回復はかなわないことだらけけれども、介護をしている自分を観音さまが救ってくれたと感じているとのこと。

今日も世界中で苦しみを悩んでいる人がいます。観音さまはその声に必ず耳を傾け、どこにでも救いに来て下さいます。

「南無大悲観世音」観音さまを信じる人々のこのお唱えの声は、必ず観音さまに届いているのです。

お地藏様がきらびやかな装身具を付けず、お袈裟を身にまとい、お坊さんの姿をしているのは、人間である私たちに最も近い姿で私たちの苦しみに寄り添って下さるからなのです。

また、お地藏様は最も弱い立場の人の苦しみを真っ先に救って下さると言われています。子供さんを先に亡くされた方、事故など突然に亡くなつてしまった方のご遺族の方など、とても大切な方を亡くされ苦しんでいる人や、病気で苦しんでいる方、高齢の為に身体の自由がきかなくなつてしまった方など、ご自身の事で苦しんでいる人、そのようなさまざま人々の深い苦しみを、お地藏様は身代わりとなり受け止めて下さると言われています。

まさにお地藏様は慈悲の仏様なのです。

お寺のお堂、お墓や道路の道筋、田んぼのあぜ道などでお地藏様を見かけた時は、静かに手を合わせて下さい。そして自分だけでなく多くの方が苦しんでいることを思つて下さい。お地藏様のすべての人を救おうとする思いが届きますように……。